

1. 高度医療人キャリア形成教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2016年（平成28年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<東北大学>

○ 次世代型専門薬剤師の育成事業

・がん化学療法薬学分野と生活習慣病治療薬学分野において高度な先進的薬学研究力と薬剤師専門性を育成する教育プログラムの開発と人材育成の中で、学部生が受講できる部分について実施した。

○ スーパージェネラリスト・ファーマシストの養成事業

・東北大学の教育資源を活用した時代の求めるスーパージェネラリスト・ファーマシストの養成教育プログラムを構築した中で、学部生が受講できる部分について実施した。

○ スーパージェネラリスト・ファーマシストPLUSの養成事業

・東北大学の教育資源を活用して培った研究力を革新的医薬品評価開発支援や地域包括ケア等、急性期医療から高齢社会での地域医療で発揮する先駆的な薬剤師スーパージェネラリスト・ファーマシスト・プラスを育成する教育プログラムの構築と人材育成の中で、学部生が受講できる部分を行う。

<金沢大学>

○ 附属病院との連携

- ・1年次生を対象として、附属病院で早期体験学習を実施した。
- ・3年次生及び4年次生を対象として、実務実習事前学習において病院薬剤部長、副部長及び薬剤師による講義を実施した。
- ・4年次生を対象として、実務実習事前学習において附属病院の医師による診断・治療・処方についての講義を開催した。
- ・6年次生を対象として、「病院実習II」（2単位、3ヶ月）の選択科目を設けて応用実務実習を実施した。

○ 地域薬局との連携

- ・1年次生を対象として、NPOアカンサス薬局で早期体験学習を実施した。
- ・3年次生を対象として、薬局薬剤師による講義を実施した。
- ・5年次生を対象として、NPOアカンサス薬局を利用した薬局実習を実施した。
- ・英語による臨床薬学教育の教材作成を行った。

<京都大学>

○ 社会人の博士課程への受入実施

- ・所定の要件を満たした場合、病院、官公庁、企業等に在職中の者についても博士課程の学生として受け入れを行っている。

○ 多職種連携プログラム

- ・1年次生を対象として、夏季休暇中に多職種連携医療体験実習を実施し、その後ワークショップを行いチーム医療の重要性を学習した。

◇ 参加人数：学部36名、医学部医学科113名、医学部人間健康科学科7名

- ・4年次生を対象として、後期集中講義として「医療安全学」を開講し、医療者間コミュニケーション、患者とのコミュニケーション、医療事故の分析についてSGDを行った。

◇ 参加人数：薬学部31名、医学部112名

○ 医療実務事前学習におけるトランスレーショナルリサーチ教育

- ・4年次生を対象として、事前学習内で附属病院薬剤部教員によるトランスレーショナルリサーチに関する講義後、薬剤師が行うべき研究の立案についてSDGで討議した。

○ 霞が関セミナー

- ・学部生、大学院生を対象として、厚生労働省、PMDA、特許庁より現役の若手京大OBを招き講演を行い、学生の進路選択の一助とした。

<岡山大学>

○ 薬学セミナーにおけるキャリアパス関係の教育（*）

- ・学部の1、2年次生を中心的な対象として、学外講師による薬学の進路に関する講演により、薬学出身者の多様な進路の実際を紹介した。

○ 学外合宿研修

- ・研究機関（理研神戸）及び製薬会社の見学ならびに教員による学生との討論を実施した。
- ・3年次生を中心的な対象として、研究機関及び製薬会社の見学と本学薬学系教員による学生との合宿による討論から構成した。

◇ 実施先：アルフレッサファーマ、東和薬品、武田薬品工業（京都薬用植物園）、理研神戸

◇ 参加者：学生約40名、教員4名

<九州大学>

○ 創薬・臨床コラボ実習

- ・博士課程の教育研究プログラムとして、臨床試験、臨床研究に対する知識・技能、がん専門薬剤師に必要な知識・技能の習得を目的に開講した。
- ・製薬企業及び医療現場との産学官共同研究に参加することにより臨床薬学の視点から創薬科学に着目した研究理論、技術及び発想を習得する。
- ・創薬の流れの中での自らの研究の位置づけを理解し総合学問としての創薬プロセスについて理解を深め新たな研究領域で研究を実践できる能力を培う。

◇ 実施学年：博士課程 1～4年次

○ 瘍治療学実習

- ・博士課程の教育研究プログラムとして、臨床試験、臨床研究に対する知識・技能、がん専門薬剤師に必要な知識・技能の習得を目的に開講した。
- ・がん医療に特化した実習を行うことにより、がんチーム医療に積極的に貢献できる「がん専門薬剤師」、「がん指導薬剤師」に必要な知識・技能を習得する。

◇ 実施学年：博士課程 1～3年次

2) その他（大学としての取組等）

<東北大学>

○ 東北がんプロフェッショナル養成プラン（H19-H23）

- ・がん対策の一層の充実を図るため、専門資格取得のために必要な学識・技術を習得させ、学際的かつ総合的な臨床研究推進能力を有したがん専門医療者の養成を図る。

○ 次世代型専門薬剤師の育成事業（H20-H24）

- ・がん化学療法薬学分野と生活習慣病治療薬学分野において高度な先進的薬学研究力と薬剤師専門性を育成する教育プログラムの開発とこれによる人材育成を図る。

○ 東北がんプロフェッショナル養成推進プラン（H24-H28）

- ・地域がん医療に貢献するがん専門医療人育成、国際的レベルの臨床研究推進力を備えた人材育成を図る。

○ スーパージェネラリスト・ファーマシストの養成事業（H25-H27）

- ・東北大学の教育資源を活用した時代の求めるスーパージェネラリスト・ファーマシストの養成教育プログラムの構築とこれによる人材育成を図る。

○ スーパージェネラリスト・ファーマシストPLUSの養成事業（H28-）

- ・東北大学の教育資源を活用して培った研究力を革新的医薬品評価開発支援や地域包括ケア等、急性期医療から高齢社会での地域医療で発揮する先駆的な薬剤師スーパージェネラリスト・ファーマシスト・プラスを育成する教育プログラムの構築とこれによる人材育成を図る。

<金沢大学>

○ 附属病院との連携

- ・実務家教員及び臨床系教員が附属病院に薬剤師として登録し、実務を兼務し現場で経験を活かし、講義、実習などを実施した。医療系講義、実習、演習、OSCEを企画、運営する医療教員会議に附属病院薬剤部の病院薬剤部長、副部長、助教が参加した。
- ・実務家教員及び臨床系教員が附属病院に薬剤師として登録し、実務を兼務し現場で経験を活かし、講義、実習などを実施した。
- ・医療系講義、実習、演習、OSCEを企画、運営する医療教員会議に附属病院薬剤部の病院薬剤部長、副部長、助教が参加した。

○ 地域薬局との連携

- ・NPOアカンサス薬局に実務家教員及び職員を派遣し、実習を実施した。

○ 金沢大学薬学シンポジウムの開催（*）

- ・研究者養成の道筋を堅持すべく、教員の教育・研究活動を活性化するため度有機・天然物系、生物系、代謝・動態系、物理・分析・衛生系の4研究分野のシンポジウムを各々毎年開催し、医薬保健研究域薬学系の研究レベルの更なる向上を目指す。

○ 新たな研究領域を開拓できる次世代薬学研究者の養成

- ・本学の部局研究力強化型の研究プロジェクトの「先魁プロジェクト：研究領域間融合と研究教育の融合を目指した拠点形成による金沢薬学ブランドの創出」や「新学術創成研究機構ユニット革新的バイオコア・創薬分子プローブユニット」のプロジェクトを発展展開し、複数研究室での研究活動を通して、変化する学問的な要請に対応し問題に果敢に挑戦でき、研究領域横断的な視点と高度な問題解決能力を有する人材の育成を図る。

<名古屋市立大学>

○ 公立大学連携薬剤師生涯学習講座【連携】（*）

- ・静岡県立大学と共同で大学が発信する薬剤師職能開発支援向けの研修を実施した。
- ・全9回の研修で、講義は最新の医療、科学知識に特化したもの、実習は薬学部の新しい授業を薬剤師向けに活用した。

◇ 2016年度受講者：60名